

月刊

語学のススム新聞

1月号

Hello!! from Bangkok!!～Chiko's column～



みなさんこんにちは！Happy New Year!!!明けましておめでとうございます。本年もどうぞ宜しくお願い致します！さて、今月号は私の冬休みについてお話ししたいと思います。今回、私の冬休みは約2週間ありました。テスト期間が終わるその日に採点を猛ダッシュで済ませ、次の日にはもう飛行機に乗り込み、1週間ヨーロッパへ戻ってみました！久々のヨーロッパ！今回はフランス(といってもスイスとの国境に近い)のアルプスの麓でクリスマスを過ごし、その後ロンドンに久々に寄りました。フランスでは、ハイキングを楽しみ、冬の匂いを目一杯感じ、夏は好きだけれどやっぱり冬がある国っていいなと感じました。ロンドンでは、親友と3日間目一杯飲み、食べ、買い物を堪能



夜ご飯！まだまだ正月気分とあって豪快にとっても美味しいフカヒレ屋さんに行きました。人生で、こんなに大きなしっかりしたフカヒレを食べたのは初めてだと思います。バンコク(タイ)にはたくさん中国系の人も住んでいるので本当に本場の美味しい中華が食べられます。そして、次の日にはリゾート地バタヤへ！この日もミニバンをチャーターし、バタヤへ向かい、ついでから、姪や甥と海で海水浴し、その後ホテルのプールでもはしゃぎ、はしゃいだ後は、プールサイドで、みんなでカクテルやジュースを飲みながらゆっくり過ごしました！タイはどこのホテルもプールがあると思いますが、プールやプールサイドが充実していると、本当にリゾート気分を味わえ、いつ

し、もうバンコクに戻りたくない！と思いましたが、そんなのも束の間、30日にはバンコクに戻り、次の日には日本から私の大家族がバンコクに遊びに来てくれましたので大忙し！31日は家族で初めてのバンコクでの年越しになったので、本当に美味しい北京ダックのお店に繰り出しビールやら、紹興酒で乾杯し、宿はチャオプラヤ川沿いのとっても素敵なシャングリラホテルを予約してあったので、そこで家族みんなで過ごしました！午前0時には、やはり花火！こんなに大きく盛大な花火を見たのは初めてでした。ほろ酔いで見る花火は本当に最高でした！花火の音とともに2018年ロンドン→名古屋→バンコクと移動した私の生活が走馬灯のように打ち上がっていったようでした。次の日からはタイで有名な水上マーケットに行きました。姪や甥は、水上で生活する人々に興味津々！私自身も初めての経験だったので、船で売っているものを隅々まで見てしまいました。少し観光地化しているのは否めませんが、バンコク市外の水上マーケットへいったので、少しは実際の水上生活にも触れられたのではないかと思います。次の日は、アユタヤへ繰り出しました。大家族で、人数が多かったので今回はミニバンとガイドを手配しました。アユタヤでは天気も良く世界遺産を見ることができ、ガイドさん(タイ人ですが日本語ができます)に、色々と歴史的背景を聞きながら巡るお寺や遺跡はとっても印象深いものとなりました。仏教は仏教でもタイと日本では、大きく違いがあり、建物や遺跡からもそれがよく読み取れました。姪や甥は冬休みの自由研究用にたくさん写真もとり、かなりたくさんのお寺や遺跡を回りクタクタになりましたが、それでも勉強になった場所となりました。その後は、



も違った特別な気分になれるのでオススメです。次の日には、またバンコクへ戻り、市場やデパートを巡り、お土産などの買い物を一気にしました。市場では、最近流行っているオーガニックマーケットに行き、いろんな食材やスパイスなどを買い、夜にはバンコクで老舗のレストランへ行き子豚の丸焼きを堪能しました！さらに最終日の次の日はデパートでタイでしか買えないタイシルクなどを買い、やっぱり買い物はいつでもワクワクしますよね！またスーパーマーケットでは、タイカレーやトムヤンクン

の調味料パックなどを買いました。なんと一袋50円ぐらい！そんなこんなであつという間に楽しい日々は過ぎ、今はもうすでに仕事が始まり、仕事に追われているChikoです。家族を空港に送って行くときには、なんだかやっぱり悲しくなってポロポロ泣いてしまいましたが、また日常に戻り学生の笑顔を見てよし頑張ろうと気合を入れています！でもやっぱり家族っていいですね。家族との濃い時間を過ごせたので、これをパワーに今年も全力で進んで行きたいと思います！今年の目標は「自分と向き合う」です。やっぱり自分の本当の声を聞くのは難しいですよね。自分の本当の心の声に向き合って自分の責任で自信を持って前に進んで行く。答えは全て自分の中にあると最近感じています。周りへの感謝を忘れず、今年もChiko全開でいきます！皆様、こんな私ですが、今年もどうぞ宜しくお願い致します！

Chiko

元気が出る!! 今月のおすすめの一冊



あけましておめでとうでございます。本年も受講生の皆様の笑顔のためにスタッフ・講師一同頑張っております。さて、みなさん年末年始はいかがお過ごしされましたか？僕は人生で初めて「新年一般参賀」に行ってきました。平成最後のお出ましなんだから、行かないわけにはいかないでしょ！

と思いつつ、1月2日、9:30に家を出て11:00には皇居前に到着。僕みたいなミーハーが大勢いたためでしょうか？大変な混み具合でした(5回のお出まし予定を7回に増)。僕の回の実際の天皇陛下のお出ましは13:50分。さすがに疲労困憊で、中には体調を崩され係員に付き添われて断念される方もいる中、ついに天皇陛下を筆頭に皇族方が続々とお出ましに…。その瞬間まず「ぞわ～」っと鳥肌が立ちまして、次にくっきり口走ってしまいました。

「うあ～、でたーあ!!」

それと同時に手を振ってる自分(笑)。僕の初めての一般参賀は、理性を失って、大変不敬なことを口走って、なにがなんだかわからないまま終わったものになってしまいました。ただ実際お目にかかる、ただただ高貴で有り難く、なんて表現したら良いかわかりませんが、身体全体が嬉しがっているような喜びを感じました。皆さんも一度実際に行ってみると何か不思議な感覚を得られるかもしれませんよ。

さて、天皇と聞いてイメージすることってどんなことでしょうか。悪くいう人は「右翼」「軍国主義」「昭和天皇の戦争責任」。逆に良くいう人は「神聖不可侵」「国民の安寧を祈る存在」「自分の身はどうなってもよい」という信念を常に抱いている」などでしょうか。

一方で国際的に見れば、「天皇は世界権威序列一位」で「世界で現在唯一の皇帝」であり、「ローマ法王が上座を譲り」「アメリカ大統領が白タイでお出迎えする」。このように世界で最も高貴な存在として見なされていることも事実。この捉え方のギャップってなんなんでしょう？

話を元に戻しまして、僕は天皇陛下をこの目で見て連想したのが、『無私の日本人』磯田道史著(文春文庫)です。この本で描かれているのは、昔の日本人の中には、天皇陛下と同じように…と言ったら失礼かもしれないですが、「私」と言うエゴを「無」くし、自分の損得や利害を



文庫文庫

文家ともいわれた「中根東里」は弟子の無我にきかれます(pg. 250)。「なぜ他人の宴会を見てそんなに楽しそうなんですか?」

東里は答えます。

「楽しくなりますよ。気持ちの垣根を取っ払ってしまえば、自分の物で無いものはなくなりますよ。自分にこだわれば、富貴貧賤、長寿短命、幸不幸…みな気になって、かえって苦しんでしまいますが、いっそのこと自分を無にしてしまえば、みんな同じでしょう。人をきちんと育てたり、戦いをとめたりするのは、ほんとうはちっとも他人ごとではなくて、自分のやまいを治しているようなものですよ」

聖人でないとそんなことできないと反論する無我に対して東里は、「なにも、はじめから、聖人だけにかぎることはない。(中略)みな、それぞれ、できるところで、心のなかの美しい玉をみがければいい。玉には大きい小さいがあって、聖人のように大きな玉は磨けないかもしれないが、小さい玉でも磨けば美しく光る。そういう玉を心のなかに磨いていく。それが人の生きるつとめではないかと思っているのです」いかがだったですか? 本来の日本人の美しさ、再発見ですよ。

「心のなかの美しい玉を磨く」。これに似た表現から思い浮かんだのは、現役小学校教師、香葉村真由美先生が書いた『子どもたちの光るこえ』(センジュ出版)です。

この本には、出会った子ども達と香葉村先生の愛情あふれる実体験が書かれています。中でも第4章「心のビー玉」が泣けてきます。

香葉村先生は任期満了で新しい小学校に赴任します。赴任早々、校長先生から「頑張ってくださいね。2年1組は本当に大変ですから」と言い渡されます。でも香葉村先生の捉え方は違っていました。

「大変だ、問題児だと大人から言われるようなやんちゃな子は、大人が気づかず理解しないだけ。彼らの中に隠されたキラキラを最初に見つけることができる」。そう考えるのです。

でも実際に教え始めると、授業中もじっと座っていることができませぬ。こちらを抑えると、あちらが暴れ出す。あふれ出るエネルギーをどこに向けたらいいのか、どうやって発散したらいいのかわからなくて暴れているようです。香葉村先生は「自分のいいところはどこだと思う?」と子どもたちに書いてもらいます。しかし、みんな白紙で提出。「どうして何も書いてないの?」と聞くと、「だって…いいところなんてないもん」と答えが返ってくるし、いいところを指摘してあげても、素直に認めることができませぬ。「あなたたちの夢は…?」と聞くと、「わからん…、知らん…、ないもん…」と答える子どもたち。香葉村先生はだからこそ「自分を信じる力」を伝えていきたいと思ったのです。そこで参考にしたのが、居酒屋「てっぺん」の朝礼。その朝礼では大人たちが明るく夢を語ります。こんなふうな子どもたちの表情を、元気のある、明るいものにしたい。自分を信じて、夢を生き生きと語ってもらいたい。そして、子どもたちに自分のことを大好きになってもらいたい。

「はい!」という大きな返事。

「おはようございます!」と元気な挨拶

「ありがとうございます!」という大切な言葉。

「私はできる」

「僕はできる」

「絶対できる」(←YouTubeにこの動画がありますよ)

エネルギーいっぱいな2年1組の子ども達は、大きな声で挨拶する

この朝礼が大好きになっていきます。「自分にいいところなんてない」「夢なんてない」少し前までそんなことを口にしてた子ども達が、堂々と胸を張って自分の夢を語っている。益々この朝礼は充実していき、2年生全体に広がっていきます。

けれどもそんな中、問題が起こります。「先生、マリを見て。すごいアトピーでしょ。かきむしると真っ赤になって、そこに薬をつけるとピカピカに光って、マリはお化けて言われたことがあるんだ。だからマリはこんな自分が大嫌い」。そんなマリちゃんに香葉村先生は言うのです。「マリちゃん、あなたのほっぺたはよくなるよ。足も手も痒くなくなっていくよ。自分の力を信じてごらん」。毎回そう言うのを聞いていた子ども達は、先生の言葉を真似していきます。「マリちゃん、よくなる、よくなる」「マリちゃん、自分の力を信じて、信じて」。夏休み前には、マリちゃんは沢山の子ども達から手や足やほっぺたを摩ってもらっていました。明日から夏休みというその日、マリちゃんは「はい!」と手を挙げて話をします。

「先生。そして、みんな。1学期の間、マリのほっぺたや手や足をさすってくれてありがとう。明日からは夏休みでマリはみんなからさすってもらえない。でも、マリは夏休みでも、家の中で目をつぶって、自分で自分のほっぺたをさす。自分で自分の手をさす。そして、その手を先生とみんなの手だって思う。だから、みんな。マリに想いを送って」するとそれを聞いた子どもたちは次々にこう言うのです「わかったよ。マリちゃん、想いを送るよ!」「私も目をつぶって、マリちゃんのほっぺたをさすよ!」「まかせとって、どこにいてもやるよ!」

2学期。当校してきたマリちゃんを見てみんなビックリ。肌がとっても綺麗になっています。お母さんの話では、故郷の海の水が肌にあったのではないかとこのことなのですが、マリちゃんは「違うよ違う。みんながマリに想いを送ってくれたから。みんなのおかげだから」と言って最後に、

「先生。心のビー玉にビー玉を入れよう」と言ったのです。優しさ、そんな目に見えないものを子どもたちに見せてあげたいと、香葉村先生は思っていました。このことをききかけとして、誰かが誰かに優しいことを言ったり、優しいことをしたりすると、「心のビー玉」と書かれたガラス容器の中にビー玉を入れていく活動が始まったのです。「心のビー玉に、優しさが入っていく」。そんな1年もいいかも♪ まとめ小林義和

Happy New Year!



Happy New Year! スタッフのRieです。平成最後の年末年始、皆さんはどのように過ごされましたでしょうか? 今年の5月、いよいよ年号が変わりますね。昭和生まれの私にとって平成はやはりあまり馴染みがない事もありましたが、実は丁度昭和から平成に変わるあの年末年始、私はカナダにおりました。現地

の新聞・ニュースも多く取り上げてましたが、本当にあの時は日本は大変だったようですね。そんな平成も30年続いたのですが、平成になってからしばらくカナダで過ごした私にとってはアツという間に終わってしまう気がします。

さて、皆さんの **New Year's resolution** (新年の抱負) は何でしょうか? 実は私、公言した事はやらなかったりする性分なので、なるべくこう言った抱負や目標は人に言わないようにしています。(苦笑) 一般的に「新年の抱負」には、この英語の「**resolution**」がよく使われていますが、日本語の「抱負」とちよつと違う意味合いがあるように感じます。**resolution**はそもそも **resolve**「解決する、変化させる、改善する」という単語の名詞形ですから、日本語の「抱負」という単語の意味の「心の中に持っている計画・決意」とは少し違う気がするのです。事実、英語では普段の悪い習慣、例えば、暴飲暴食ですとか、喫煙とか勉強しない等の怠慢(笑)を改善する! という目標を述べる事が多いようです。私個人の事に関しましては、今年は映画ばかり観てうだうだしていないでもう少し自分の錆びれている英語の会話力を伸ばすよう努力する! という感じででしょうか? あ、でも公言してしまうとやらない傾向がありますのでやめます。(笑) 皆さんはいかがでしょう? 何か改善する事がありますでしょうか? 今年はレッスンで学んだ事を必ず翌日に復習する! そして覚えるまで何度もノートを開いてみる! なんて事も言えますね。「ちっとも英語の単語を覚えられないわ〜。」なんておっしゃっている方、復習はちゃんとしていますか? 人間の記憶したものは翌日には半分ぐらい失われているようですので復習のタイミングは大事ですね。詳しくは当校に置いてあります「**復習のタイミング**」というプリントを参考にしてくださいね。それでは本年も皆様にとって良い年でありますように。